



## 57. アーチェリー章

所属： \_\_\_\_\_ 第 \_\_\_\_\_ 団 \_\_\_\_\_ 隊 スカウト氏名： \_\_\_\_\_

	考査細目	考査方法	合格年月日	認印
(1)	アーチェリーの安全ルール及びエチケットについて説明できること。	口述または記述		
(2)	弓と矢について各部の名称、規格（弓の長さ・強さ、矢の長さ）を述べる。 その他の用具（アームガード、クイバー、クラブあるいはフィンガータブなど）についても名称をあげ、使用法を実演できること。	実演		
(3)	次のことができること。 ア アーチェリー用具の手入れと保管。 イ 弓に弦を張り、弦にノッキングポイントを作る。 ウ 自分の弓に合う矢を6本作る。 エ 各種の矢について、その名称、用途、形状、材質などについて説明する。 オ 各種の弓について、その名称、用途、特徴を説明する。 カ 次の用語を説明する。 ポウ・ウエイト、ドロー・レンジス、ストリングハイトあるいはフィストミル、センター・ショット、アーチェリー・パラドックス、スタビライザー キ スパインについて説明でき、自分の体格と弓に適合した矢を選ぶことができる。	実演および作品の提出 口述または記述		
(4)	基本的な射の各段階（射法8節）について説明し、実演する。主なエイミングの方法（サイト、ポイント・オブ・エイム、ベアボウまたはインスティンクティブ・エイム）、及びアンカーの位置（ハイアンカー、ローアンカー、アパッチ射法）についても説明できること。	実演 口述または記述		
(5)	アーチェリーの楽しみ方（ターゲット、フィールド、インドア、フライト、フィッシングなど）及び競技種目2種以上のルール（ターゲット/FITAラウンド、フィールド・ラウンド、インドア・ラウンドなど）について説明できること。	口述または記述		
(6)	自分の目指す種目において、標準以上の成績をとること。 ターゲット競技・・・30m、36射の合計 200点以上（インドア18mでも可）を基準とする。	実演または証明書の提出		

考査細目のすべてに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 \_\_\_\_\_ 印